

栄区教育研究会

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のもと確かな学力・学習力を身につけ、
豊かな人間性を育む教育活動の創造」
～教育課程の創造、実践の中で授業力の向上と研究交流の広がりを目指して～

2 研究主題について

新学習指導要領の完全実施となった令和2年度がスタートした。新型コロナウイルスの影響で教育課程の編成をしながらも新学習指導要領の資質・能力を育てていくことを重視し、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業力の向上」を具体的なものとしていくことが大切である。そういった状況の中、市研究会も「社会に開かれた教育課程の創造・実践」に向け、新たな横浜の教育づくりを継続して進めている。栄区においても、これまでの学習意欲の向上を図り、確かな学力が身につけていく研究の成果を基盤として、課題を解決するために必要な思考力・判断力、表現力の育成とともに、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る教育課程の創造を目指して取り組んでいきたいと考え、上記、主題を継続し、研究を進めていくことにした。ともすると、専門的なところを深めていくと、研究がそれぞれの研究部内にとどまるという傾向が見られる。それは区教育研究会の目指す、栄区全体の教育の質の向上に資するという価値につながらない。そこで今年度も、これまで以上に研究部会・学校間の相互の交流を盛んにし、広く栄区全体として、質の高い研究を推進できるようにしたいと願って活動した。

3 研究方法

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月までは活動を自粛し、7月からのスタートとなった。三密を避けるために会議は各校代表1名のみが参加とした。研究会が集中している会場校があったので分散した。使用した会場は責任もって消毒するよう呼びかけ、消毒ペーパーを栄区事務局から配布した。緊急事態宣言下でも開催が必要な場合は、リモートでの開催とした。

4 年間活動（事業）報告

(1) 区一斉授業研究会が中止となったため、講演会に変更した。

○令和2年11月11日（水）・・・A研（講演会）

国語（飯島）社会（笠間）理科（上郷）図画工作（小菅ヶ谷）

○令和3年1月27日（水）・・・B研（講演会）

特別支援（小山台）以外の外国語活動・外国語（千秀）図書（豊田）特活（豊田）は中止

(2) 推進行事

・区巡回図工展

10月下旬～12月上旬

・区巡回書写展

11月～12月

5 研究の成果と課題

栄区では、すべての学校がいずれかの教科・領域の授業研究を分担し授業提供する形をとっている。しかし今年度は区一斉授業研究会が中止となったため、授業を伴った研究の代わりに講演会を実施できた研究会もある。各研究会では、コロナ禍における授業づくりや行事等の情報交換を行うことで各校の実践に役立つ話し合いができた。各校代表1名の参加等制限がある中での開催となったが、月一回の研究の機会が動機づけとなり、日々の自分の授業や取り組みを見つめ、工夫・改善できた。その実践を研究会にもちよることでさらに練り上げ、それぞれの部員に返していくことができた。研究部会を核にして、このような研究の広がりや、具体化がなされているところに、栄区小学校教育研究会の素晴らしさがある。児童参加の行事は中止になったが、作品展・各種コンクール等の推進についても、子どもたちの深い学びの場の提供であり、意欲化に結び付く活動であった。